

年 細 番 名 前 点 数 点

[A] 次の文の現代語訳の空欄に入る適当な語を書きなさい。

1 あはれなるもの 孝ある人の子。山里の雪。(枕・一五段)

「おの、(それは)親孝行な子ども。(まだ、それは)山里の雪。14

2 声高になのたまひて。屋の上にいる人たちが聞くに、いとまきなし。(竹取・かぐや姫の昇天)

大きな声でおっしゃら」。屋根の上にいる人たちが聞くので、とてもみこともないことです。18

3 何事にかあらん、ことごとくのしりて、足を空にまじぶか(徒然・一九段)

どんな用事があるのだろうか、おおけきになめき立て、足も地につかないほど忙しく「いるのが 4

4 已れと枯るだにこそあるを、名残なく、いかが取り捨てべき。(徒然・一三段)

(葵の葉が)自然と枯れるのでえ(惜しいもので)あるのに、心残りもなく、(枯れもしない葵の葉を)「取り捨て

られるだろうか、とてもできない。15

5 下さまの人の物語は、耳驚く事のみあり。上き人はあやしき事を語らず。(徒然・七三段)

下層階級の人の話は、聞いて驚く事ばかりがある。身分教養のある人は「事を話さないものだ。13

6 春は晴。やうやうしろくなりゆく山際少し明りて(枕・一段)

春は晴が趣がある。「白んでゆく山の上のあたりの空が少し明るくなって 29

7 うちとまじきもの えせ者。さるは、よしと人に言はる人よりもうらなくぞ見ゆる。(枕・一八八段)

心を許すことできない者、(それは)身分の低い者(だ)。「(そういう人は)立派だと言われる人よりも心のく

だてがなく、親しみやすく見える。18

8 おほやけに相撲のころなり。(蜻蛉・中)

「で相撲の行事が行われるころである。10

9 いとむごときき際にはあらぬが、すぐれて時めき翁ふありけり。

それほど身分が高いお家柄の方ではなく、非常に「でいらっしやる方がいたそう(だ)。6

10 山寺の作法うして大機極す。(案式部)

「や三井寺の作法をそのままうして大機極(大機極)という(こと)をする。19

[B] 次の文の現代語訳の空欄に入る語として適当なものを、①～④から一つ選びなさい。

11 藤の咲きかかりて、月になびきたる、風につきてとにほふがなつかしく(源氏・蓬生)

藤の花が咲いて枝からたれて、月の光の中でなびているのが、風につきてとにほふ(源氏・蓬生)の

①うれしくて ②きびしげで ③心がひかれて ④珍しくて 9

12 さて十日余りなれば、月おもしろし。

さて(今夜は)十日すぎであるので月が「。

①美しい ②立派に見える ③揃ってくる ④欠けている 8

13 身にやむごとく思ふ人のなやむを聞きて、いかにいかにとおぼつかなきことを欺くに

自分にとって「と、思ふ人が病氣にかかっているの(病状は)本当にどうだろうかと不安な思いで心配して

るうちに

①大切だ ②身分が高い ③やむを得ない ④すぐれている 15

14 おが株どもの、とろしき聞こえあるを思ひて宣ふにや。(源氏・帯水)

(その人は)自分の妹たちの、「評判があるの(ように)おっしゃったのだろうか。

①興味深い ②悪くはない ③不都合な ④不愉快な 8

15 いみじう頼つきおこなひて寝たりしかば、御帳のかたより(雲級・鏡のかげ)

(私は仏の前で)とても心をこめてぬかすいて「て寝ていたところ、(仏前の)御たれま(く)の方

①お経をあげお祈りをし ②気になつ ③考え ④我慢し 5

16 年月経ても、つゆ恋るにはあらねど、去る者は日々に疎しといへることなれば

年月がたつても、(死んだ人を)「忘れるといふことは「けれども、離れていく者は日々に疎くなる(と)言

いることであるから

①あまり、ない ②全く、ない ③少しだけ、ない ④どうしても、ない 4

17 入道 今日御まうけいといかめしうつかうまつれり。(源氏・明石)

入道は、今日の「をとても立派にどのを申し上げた。

①御衣装 ②御車 ③御身なり ④ごちそうの用意 10

18 この殿、ことにふれておそはせる詩、和歌など(大鏡・道長)

この殿が、何かにつけて「た漢詩や和歌など

①お作りになつ ②引用し ③贈つ ④無駄になさつ 10

19 はしたなきもの、こと人を呼ぶにわがぞとせし出でたる。ものなどとらするをりはいど。(枕・二三段)

「もの、(それは)他の人を呼んだのに自分かと思つて顔を出したものだ。何か物などをくるときはいよいよ

(だ)。

①品がない ②恥ずかしい ③中途半端な ④間が悪い 15

20 和歌こそなほをかしきものなれ。(徒然・一四段)

和歌というものは「趣のあるものだ。

①本当は ②いつの時代も ③なんといつてもやはり ④そうはいふものやはり 18

[C] 次の古語を現代語になおしなさい。

21 さうじ(障子) 203

22 そはかどなし 156

23 せんなし(詮無し) 101

24 おぼす(思す) 288

25 かつは(且つは) 261

26 をきをさ 247

27 いうなり(儼なり) 162

28 さかしら(賢しら) 211

29 びんなし(便無し) 9

30 つれなし(連れ無し) 117

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

20

19

18

17

16

15

14